

中小企業支援機関、各種団体、企業、行政の皆様へ

当協会会員は、経営革新セミナー、創業塾などのセミナー、講演会、研究調査等の企画、実施まで責任を持って実行します。また、商店街などの中小の集積から個別企業まで、多くの業種の経営計画の支援や実務支援等を現場で行っています。企業内研修、団体研修、専門家の派遣等でも多くの実績があります。当協会会員には、中小企業診断士だけでなく、弁護士、税理士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、ISO9000,14000等審査員、情報システム、不動産鑑定士、など他の資格者も擁する人材の宝庫でもあります。専門家とのマッチング、費用のご相談など、無料窓口相談で行っていますので、業界に関わらず広く経営に関することなら、お気軽にご相談ください。

無料経営相談のご案内

当協会では、平日の午後1時より午後5時まで、予約制で、中小企業診断士による無料経営相談を実施しています。経営者を始め、営業担当者や創業を考えている方、各種団体との連携を求めている方など、多くの方に安心して利用いただいています。特定の分野での専門家をお探しの場合は、電話やメールであらかじめ、ご相談していただくことも可能です。

発行者：一般社団法人 滋賀県中小企業診断士協会

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21 4階
TEL: 077-511-1370 FAX: 077-511-1371
Email: jsmecca25@jade.dti.ne.jp HP: <https://shiga-smeca.net>

アクセス

京阪電車石場駅より徒歩3分
JR大津駅からバス「びわ湖ホール」または「商工会議所前」下車徒歩2分



診断しが

Shindan-Shiga

No.53 2024 SUMMER



目次

会長挨拶	1
特集記事	
令和6年度 滋賀県協会定時総会 報告	2
令和6年度 協会本部定時総会 報告	3
診断実務従事の取り組み	4
第8期プロコンステージアップ塾	5
委員会報告	
組織体制委員会	6
厚生委員会	6
広報委員会	7

研究部会報告	
事業承継研究部会	10
事業再生研究部会	11
飲食・観光研究部会	12
BCP研究部会	13
DX研究部会	14
企業組織活性化研究部会	16
活躍する診断士	17
新入会員紹介	19
事務局からお知らせ	21



「夏の信楽高原鉄道」 撮影：大石 孝太郎



会長挨拶

滋賀県中小企業診断士協会 会長 大石 孝太郎



令和6年度定時総会において、一般社団法人滋賀県中小企業診断士協会の第8代会長に就任いたしました大石孝太郎です。

私たち中小企業診断士は、中小企業の様々な経営課題に対応するための支援、助言等を行う専門家です。国家資格として、「中小企業支援法」第11条に基づき、経済産業大臣が登録することとされています。

滋賀県中小企業診断士協会は、現在、130名の中小企業診断士の組織となり、中小企業診断士資格に加え、弁護士、税理士、社会保険労務士などの国家資格を保有する会員も多く、また、その専門分野は、経営に関わる資金、技術、人、ICT活用、各種補助金など国や公的機関等が実施する施策の支援など大変幅広い領域をカバーしています。多くの会員は、単なる知識だけでない業界情報や、技術者や企業実務者としての経験があることも強みです。

企業経営を取り巻く環境は、ヒト・モノ・情報・外部環境・カネ等のあらゆる面で激しい変化の中にあります。企業経営の変化はもちろん、当協会および会員自身も変わらなくてはなりません。

私たちは、当協会の次の4つの機能をさらに強化していきます。①中小企業支援の実践②中小企業診断士の教育・育成 ③中小企業支援等の研究活動 ④会員互助です。中小企業支援の実践においては、経営者の良い伴走者となり、滋賀県内外の中小企業支援機関、金融機関、行政等と緊密な連携のもと、さらなる支援の実効性向上に引き続き尽力する所存です。会員に向けては、会員サービスの向上、これから診断士を目指す方や当協会への入会を検討されている方々への情報等の充実に取り組みます。経営環境は厳しい面もありますが、ピンチはチャンスでもあります。滋賀県協会の私たちと共に、新たな価値創造に取り組みしましょう。



令和6年度(第13回)定時総会 開催報告

会長 大石 孝太郎

開催日時:令和6年5月25日(土)15時00分～16時10分

開催場所:コラボしが21 3階 大会議室

令和6年度(第13回)定時総会が、令和6年5月25日(土)に開催されました。田畑会長のご挨拶に続き、滋賀県商工観光労働部 中小企業支援課 課長 住羽地正浩様より、来賓のご挨拶をいただきました。続いて、中小企業診断協会より、会員20年表彰として下村裕彦会員、理事6年表彰として佐々木武会員に、田畑会長より表彰状が授与されました。

定款に基づき、出席会員数の確認が行われ、有効会員数に達していることが報告され、田畑会長が議長に選任され議事進行が行われました。

第1号議案の「令和5年度事業報告 報告の件」が事務局より報告され、第2号議案「令和5年度収支決算」を説明を行い、監査報告が行われました。その結果、満場一致にて可決承認されました。

第3号議案「令和6年度事業計画」および第4号議案「令和6年度収支予算」は、合わせて事務局より報告されました。第5号議案「役員改選」については、役員候補案が事務局より提示され、会場より拍手をもって可決承認されました。

ここで、総会は休憩となり、この間、臨時理事会が開催され役員体制を決定致しました。この臨時理事会にて、大石会員が会長に選任され、再開後の総会にて、新会長の就任挨拶を行いました。

以上を持ち、16時10分に定時総会は閉会しました。

新執行体制は、次のとおりとなりましたのでご報告させていただきます。

令和6年度 役員体制

●役員

会長	大石孝太郎				
副会長	西村剛史	田畑一佳			
専務理事	佐々木武				
常務理事	岩崎弘之	山本邦博			
理事	鐘井輝	磯野研	河原進悟	山元岳司	奥田謙一
	望月啓司	岡本香	黒川勝利	栗田一人	

監事	下村裕彦	山口智之
----	------	------

相談役	大岡敏孝	廣田光政	山本善通	田中清行
-----	------	------	------	------

●常任理事会

常任理事会	大石孝太郎	西村剛史	田畑一佳	佐々木武
	岩崎弘之	山本邦博	下村裕彦	山口智之

令和6年(第69回)定時総会 参加報告

会長 大石孝太郎

開催日時:令和6年6月17日(月)14時00分～16時15分

開催場所:銀座フェニックスプラザ(紙パルプ会館)

令和6年(第69回)定時総会に出席し、審議に参加させていただきました。令和5年度事業報告および決算書が承認され、令和6年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)の報告を受けました。また、他の重要な議案もありましたが、滋賀県協会にも関係する「第4号議案 定款改正の承認に関する件」について、会員の皆様にご報告させていただきます。

これまで、一般社団法人中小企業診断協会は、中小企業診断士の連携と資質の向上に努めることと、中小企業診断制度の普及と連携を図ることをもって、中小企業の振興等に寄与することを目的としていました。当初は、各都道府県の多くは、法人化しておらず任意団体としての活動に留まっており、法的行為の契約主体にはなっていませんでした。近年、都道府県協会の法人化が進み、都道府県協会の全国本部機能を中小企業診断協会が果たすようになってきましたが、全国を代表する法人としての位置づけは明確になっていませんでした。本総会において、「一般社団法人中小企業診断協会」は、「一般社団法人日本中小企業診断士協会連合会」に名称を変更することが可決され、各都道府県協会を会員とする全国組織の連合会であることを明確にしました。

また、法人の目的を、「会員(都道府県協会)及び中小企業診断士相互の連携を緊密にし、中小企業診断士の資質の向上に努めるとともに、中小企業者とその経営資源に関し適切な経営の診断及び経営に関する助言を受ける機会～」に変更され、都道府県中小企業診断士協会の連携促進と、中小企業診断制度の普及というよりも、中小企業診断士が中小企業者の経営支援や相談する機会の拡大を図ることが明確に示されました。この定款変更は、2024年10月から施行されることになりました。略号も、従来の「J-SMECA」から「JF-CMCA」と変更になります。会員の皆様におかれましても、日本中小企業診断士協会連合会と滋賀県中小企業診断士協会の関係をご理解いただくとともに、中小企業診断士としての資質向上の自己研鑽、相互研鑽に引き続きご注力いただくとともに、新たな略号の使用など、中小企業診断士のブランド向上にご尽力いただきますようお願いいたします。

第4号議案 定款改正の承認に関する件

変更後の定款(新)	現行の定款(旧)	備考
第1章 総則 (名称) 第1条 本会は、一般社団法人日本中小企業診断士協会連合会(英文名 Japan Federation of Certified Management Consultants' Associations、略称「JF-CMCA」)と称する。 第2条 (略) (目的) 第3条 本会は、会員及び中小企業診断士相互の連携を緊密にし、中小企業診断士の資質の向上に努めるとともに、中小企業者とその経営資源に関し適切な経営の診断及び経営に関する助言を受ける機会を拡大を図り、もって中小企業の振興と国民経済の健全な発展に寄与することを目的とする。	第1章 総則 (名称) 第1条 本会は、一般社団法人中小企業診断協会(英文名 Japan Small and Medium Enterprise Management Consultant Association、略称「J-SMECA」)と称する。 第2条 (略) (目的) 第3条 本会は、中小企業診断士相互の連携を緊密にし、資質の向上に努めるとともに、中小企業診断制度の普及と推進を図り、もって中小企業の振興と国民経済の健全な発展に寄与することを目的とする。	・都道府県の中小企業診断士(士)協会の連合会組織である旨を明確化 ・当会の業務実態を明確に示すため、会員間の連携を緊密にする旨を明記 ・「中小企業診断制度の普及」ではわかりづらいため、中小企業診断士の基となっている中小企業支援法の表現を用いることとしたもの

診断実務従事の取り組み

西村 剛史

会員サービス強化委員会では、本年度も診断技術向上を図りながら実務従事ポイントを取得するための、診断実務実習を実施します。

- ◆ 日程：2025年1月11日(土)～2025年3月末の間の6日間
- ◆ 対象者：中小企業診断士
- ◆ 参加費用：(一社)滋賀県診断士協会会員(12,000円) それ以外の方(39,000円)
- ◆ 詳細日程：※主に土日を主体に考えておりますが、平日になる場合もあります。

オリエンテーション日	2025年1月11日(土) 14:00～16:00
①準備	コラボ滋賀21会議室 ・グループ分け及び担当指導員紹介 ・診断の進め方についての説明 ・報告書の作成方法の説明 ・グループ毎の日程説明
②ヒアリング	・担当指導員同行の下でヒアリング実施(平日の場合あり)
③経営診断	・各グループで実施(主に土日とメールでのやり取り)
④経営診断	
⑤経営診断	
⑥診断報告会	・2025年3月末までに担当指導員同行の下で実施(平日の場合あり)

昨年度は20名の参加申し込みがありました。

各5名ずつの4班に分かれて、4名の指導員のもと、甲賀の酒類販売業、東近江の洋菓子製造販売業、飲食業、大津のクリーニング業を診断しました。

昨年度も、企業様から「作成いただいた報告書は、これからの経営の指針にしていきたい。」などのお褒めの言葉をいただいています。本年度も当協会の実務従事事業にご協力いただく企業さまに喜んでいただけるように頑張っています。

また、参加者のみなさまにも毎年、内容の濃い実習で、スキルアップにつながった。」などの声をいただいております。本年度もとても有意義な実習となるようにしていきたいと考えています。

第8期 プロコン・ステージアップ塾のお知らせ

プロコン・ステージアップ塾事務局 中澤 太郎

滋賀県中小企業診断士協会では、2017年から毎年「プロコン・ステージアップ塾」を開催しており、今年で第8期を迎えます。今年も塾生募集開始からわずか1日で4名の応募があり、年々その注目度が高まっています。

本塾の特徴は以下の4つです。

- ① 第一線で活躍するコンサルタントが必要なスキルとマインドを徹底指導
- ② 少人数制により、あなたの商品やキャリアプランを徹底的に磨き上げ
- ③ 当塾の仕上げに一人で企業訪問する経営診断を実施して稼ぐ力を獲得
- ④ 毎回講義後に懇親会を開催。講師・同期生とのつながりが貴重な財産に

プロコン・ステージアップ塾では、参加者が実践的なスキルを身につけるためのカリキュラムが整えられており、個々の成長を支援する環境が整っています。特に、少人数制によるきめ細やかな指導と、実際の企業訪問を通じた実地経験は、多くの参加者に高く評価されています。また、講義後の懇親会では、講師や同期生との交流を深めることで、貴重な人脈を築くことができる点も魅力の一つです。

これまでに卒業生は25名を超え、多くの卒業生が自信を持って独立やキャリアアップに挑戦しており、それぞれのフィールドで活躍しています。今年から開催日程が1日増え、合計6日間となり、講義内容もバージョンアップしています。この記事が発行される時点で定員を超えている可能性もありますが、ご興味のある方はぜひお問い合わせください。

第8期 講義内容		机上の空論ではない、具体的な仕事の進め方や営業のポイントを深く理解できます	
8/31(土)	プロのコンサルタントとは何か 田畑 一桂	プロの決算書の見方 西田 隆行	プロのヒアリングスキル 井上 稔
			強み・スキルの洗い出し これまでの経験や内面を深掘り
10/5(土)	プロコンのスキル/コンサルタント業務編 田畑 一桂	プロの財務分析 西田 隆行	ヒアリング演習 井上 稔
10月～1月	経営診断スタート (2月までに1人で企業訪問を2～4回) ※「診断助言業務実績」としてカウント可		
11/9(土)	プロコンのスキル/経営戦略編 田畑 一桂	プロのライティング 磯野 研	商品開発・スタートアッププラン 各自の強みを活かした商品開発
12/7(土)	プロコンの営業 磯野 研	公的機関との関わり方 栗田 一人	経営診断中間報告・ライティング指導 経営診断の中間発表とフィードバック
1/11(土)	ビジネスプラン・キャリアプラン プレゼンテーション演習 商品・サービスの紹介とスタートアッププランの発表と各講師からのフィードバック		
1月～2月	経営診断報告書&サマリー作成		
2/8(土)	経営診断報告書の模擬報告と個別アドバイス 経営診断の最終報告書の発表と各講師からのフィードバック		卒業式 振り返り
3月	(経営診断報告書の修正・改善後) 最終企業訪問：経営診断報告会の実施		

組織体制委員会

組織体制委員会の取り組み

西村 剛史

昨年度は引き続き、会員増強はもちろんのこと、e-learningによるコンプライアンス研修の受講を徹底することによりコンプライアンス強化に取り組みました。その結果、ほぼ全員の会員のみなさまが受講済となりました。

今年度も新入会員を中心にe-learningによるコンプライアンス研修の受講を徹底していきます。また、今年度も働きやすく、集まりやすい環境の整備のために、事務所の書類整理を適時、実施してまいります。

当協会の会員数も130名を超えてきました。会員増加に伴う組織体制の見直しも検討していきたいと考えています。

厚生委員会

鐘井 輝、西村剛史、稲田忠夫、山本善通、仲西貞之、河原進吾、稲田忠夫、岩崎弘之、下村裕彦、森部 修、島渕裕一、山本邦博、古澤 智

2024年度 ゴルフ交流会 実績

第1回(3月27日)	大甲賀CC油日コース	優勝者	松田 安正 氏
第2回(4月24日)	信楽カントリー倶楽部杉山コース	優勝者	田中 晋次 氏
第3回(5月27日)	近江カントリークラブ	優勝者	田中 晋次 氏
第4回(6月27日)	甲賀カントリークラブ	優勝者	古澤 智 氏



3月27日大甲賀CC油日コースにて



5月27日近江カントリークラブ
田畑会長おつかれさまゴルフコンペ

ほぼ毎月ゴルフ交流会を行っております。オープンな会ですのでどなたでもご参加いただけます。皆様のご参加をお待ちしております。

広報委員会

「診断士協会ホームページ 待望のリニューアル」 ～今こそ診断士の力を地域経済・事業成長の原動力に～



2024年5月、診断士協会のホームページをリニューアルいたしました。これまで、経営者や支援機関のみなさまから、「診断士は普段どんな仕事をしているのですか」「どのように支援いただけるのですか」など、お問合せをいただく場面が数多くありました。また、診断士のみなさまからも「経営コンサルタントのホームページとして相応しい内容にしていきたい」というご意見もいただいております。



このたび、そうしたご要望にお応えするべく、ホームページの内容充実を図るとともに、診断士の認知度、ブランドイメージ向上を目指してリニューアルを実施いたしました。リニューアルの3つのポイントをお伝えします。

1. 知りたいことが見つかる!対象者別のメニュー構成(経営者、支援機関、診断士)

経営者、支援機関、診断士など、閲覧される方によって必要な情報は異なります。経営者のみなさまであれば、経営課題に応じた支援(ソリューション)、支援実績、補助金等の支援等に関する情報への興味・関心が高いのではないのでしょうか。

支援機関のみなさまであれば、ソリューションの他、依頼したい内容に対応できる専門家の情報が必要と思います。

リニューアル後のホームページでは、必要な情報にすぐにアクセスでき、診断士をどう活用したらよいかがわかります。ぜひ、みなさまの事業にご活用ください。

<p>経営者・企業の方へ</p>  <p>経営改善、事業承継、資金繰りなど、中小企業が直面する課題に対し、経営支援のプロフェッショナルとして、専門知識を活用して課題解決に貢献します。</p>	<p>支援機関・行政の方へ</p>  <p>支援機関・行政の施策推進の担い手として、当協会に所属する県内各地の診断士が、中小企業支援、地域課題解決を通じて、地域経済の活性化に貢献します。</p>	<p>入会希望の方へ</p>  <p>滋賀県協会は、研究会活動など、会員のスキルアップを重視し、他府県の方も多数加入。診断士として自立できるよう研修、実務経験の場も充実しています。</p>
--	--	---

2. 経営課題を解決! 多様な専門家による多彩なソリューション

当協会には100名を超える診断士が所属しており、製造業・小売業・飲食業など各業種の他、金融機関、自治体など多様な経歴、専門スキルを有しています。

ビジネスにおけるさまざまな課題(経営・事業承継・新規事業・DXなど)に対して、各診断士の専門スキルを活かした多彩なソリューションを提供することが可能です。今回のリニューアルでは代表的なソリューションをまとめた専用ページを新たに設けています。

経営課題を誰に相談したらよいかお困りの時には、ソリューションのページをご覧ください、ぜひ当協会までご相談ください。

 <p>経営戦略・経営計画</p> <p>経営理念・ビジョン策定 競争戦略・差別化戦略 中期経営計画・事業計画書作成</p>	 <p>経営改善・事業再生</p> <p>経営診断、事業再生支援 経営改善計画策定</p>	 <p>事業承継・M&A</p> <p>事業承継計画策定 後継者教育支援 M&A支援</p>	 <p>創業・新規事業支援</p> <p>創業セミナー、創業支援 新規事業開発支援</p>	 <p>資金調達・財務管理</p> <p>財務戦略 資金繰り改善 資金調達支援</p>
 <p>特許・知的資産</p> <p>知的資産経営 知財戦略</p>	 <p>DX推進・支援</p> <p>業務プロセスの効率化・自動化 LINEによる顧客関係強化 Instagramマーケティング</p>	 <p>地域活性化支援</p> <p>経営発達支援計画・RESAS活用支援 地域活性化支援・商店街支援 公共施設の経営改善</p>		

3. 当協会の最大の強み! レベルの高い支援を実現する研究会活動

当協会の特色として、会員診断士の研鑽を目的とした、テーマ・業種ごとの研究会活動を行っています。支援事例の紹介、調査研究事業、チームでの支援活動などを通じて、所属診断士の知見、経験を結集し、切磋琢磨をしつづけております。「経営のプロフェッショナル」である診断士として、経営者・支援機関のみなさまの期待以上の、レベルの高い支援を実現する体制を整えています。研究会活動の詳細については、ホームページをぜひご覧ください。

これまで大手、外資系しか対応できないと思われていた難易度の高い案件、大規模な案件にも当協会に対応できると自負しています。新たな選択肢として「滋賀県での実績豊富な」当協会および研究会をご検討いただけましたら幸いです。

さいごに

現在、人手不足、物価高騰、生成AIの登場など、経営を取り巻く環境は過去に例を見ない激しい変化の渦中にあります。

そうした時代に、我々診断士の持つ知見、経験は、経営課題に立ち向かう経営者、支援機関のみなさまのお役に立てるものと考えます。

当協会は県内の商工会・商工会議所とも連携しているほか、自治体(大津市、高島市、長浜市、東近江市など)、支援機関(中小企業団体中央会など)、金融機関(信用保証協会、信用金庫など)からもご依頼いただくなど、安心と信頼の実績もございます。

今回、ホームページにまとめました、ソリューション、活動内容をご覧ください、経営課題に取り組まれる際には当協会までぜひご相談ください。

また、診断士のみなさまにおかれましては、当協会への入会、研究会活動の検討に役立てていただく他、診断士の活動を紹介するツールとしてもご活用いただけましたら幸いです。診断士の力で地域経済を盛り上げていきましょう。

広報委員会では、今後もホームページの充実を図ってまいりますので、お気付きの点、ご要望などございましたら、広報委員までご連絡ください。



未来を描く
ホームページ

事業承継研究部会

活動目的	◎ビジョン:「次の世代へつなげる“よい”会社づくり」へのお役立ちをめざします。 ◎活動目的 研究会メンバーの承継支援事例の紹介と意見交換をメインに、各支援機関 中小機構近畿本部と連携しながら、新たに入会した会員への基礎的な承継 知識の学びを支援するとともに、承継に関連する会社法や民法、相続税・贈与 などの概要の把握、M&A後に必要となる「中小PMIガイドライン」への対応など 承継支援に必要な知識と対応力を身に付けることをめざしています。		
開催日	月1回(第2水曜日) 18:30~20:30	開催場所	原則、オンライン形式(ZOOM)で行う。
運営チーム	代表:松島明男、サブ:中川学、加瀬秀樹、岡本香		

1. 半年間の活動実績

- ①第87回:2月14日(水) 「承継スキルアップセミナー:2」
承継支援者が知っておくべき事業承継とM&Aの基本的理解 担当:栗田 一人 会員
- ②第88回:3月13日(水) 「承継スキルアップセミナー:3」
承継相談を受ける時におさえておくべき基礎知識 担当:加瀬 秀樹 会員
事業承継に関する現状と地域密着型事業承継マッチングサイトの紹介 担当:佐野 良太 会員
- ③第89回:4月10日(水) 「従業員承継における注意点~好業績企業は事業承継を急ぐべきか~」
従業員承継の支援事例紹介を中心に、注意点などを解説。 担当:栗田 一人 会員
- ④第90回:5月8日(水) 「事業承継トラブル事例の考察」
弁護士としての顔も持ち、日々活躍される講師から、具体的な事業承継トラブル事例を法務面からの考察、対応策も交えて解説。 担当:藤村 航太郎 会員
- ⑤第91回:6月12日(水) 「年功序列・家族主義で売上倍増!古くて新しい経営の本質と事業承継」
カンブリア宮殿・メディアでも紹介された、家業を立て直した経営者としての経験と事業承継の実体験について講演いただきました。
担当:万松青果株式会社代表取締役会長 中路 和宏氏(外部講師・中小企業診断士)
- ⑥第92回:7月10日(水) 「事業承継トラブル事例の考察 第2弾」 担当:藤村 航太郎 会員

2. 今後の活動予定について

- ①第93回:8月14日(水)
「個人事業主の事業承継と税制について(仮)」 担当:中川 学 会員
- ②第94回:9月11日(水) 18時00分~19時00分 コラボしがにてリアル開催
「滋賀県事業承継・引継ぎ支援センターよりセンター事業の紹介他」
研究会後、センタースタッフを交えて懇親会開催予定

事業再生研究部会

リーダー:山元 岳司 記:伊東 豊二

1. 研究部会の目的と活動内容

研究部会の目的は、経営資源が乏しいこと等で業績が思わしくなく苦勞されている中小零細企業の事業再生や経営改善を支援するスキルを身に付けることです。

活動内容は、当協会が滋賀県信用保証協会から受託している「経営安定化支援事業」、「創業支援強化事業」、「継続サポート事業」の実践および事例共有と意見交換等による相互研鑽です。

具体的には、本研究会参加の診断士が、企業の経営診断等を行います。その際に、実務経験の浅い診断士は副担当として入り、経営診断等の基礎となる実践経験を積みます。その後、主担当として実践現場でさらに経営診断等の能力を磨きます。

実践する経営診断等は以下のとおりです。

- ・経営診断(経営改善コース、事業承継コース、生産性向上コース、チャレンジコース、創業支援コース、フォローアップコース、創業フォローアップコース、IT入門コース)
- ・経営改善計画、生産性向上計画、生産性向上設備導入計画策定
- ・モニタリング支援

事例共有と意見交換等は、守秘義務順守の下、経営診断等の事例を担当した診断士が毎月3件発表し、これを題材に活発に意見交換して相互研鑽しています。書物や個人活動からだけでは得られにくい、実践的な経営診断スキルや経営支援の知見・能力を磨き上げることができます。

新型コロナウイルス感染症の拡大で、飲食業、宿泊業のみならず卸・小売業、運輸業、製造業等も売上の大幅低下を余儀なくされて窮境に陥り、国の金融施策等によって急場を凌いでいた企業が多い状況です。いまだ新型コロナの経営への影響が残る中で、増加した借入金の返済を開始している企業もあり、国も新たな信用保証制度(コロナ借換保証)を開始するなど対応を図っています。これらに対応するために経営改善計画等の策定要請が増加すると考えられます。本研究会に参加することで、その経営改善計画策定支援等を学ぶ絶好の機会を得られます。



2. 令和6年(1月~6月)の活動状況

毎月1回(第3水曜日夜)、「コラボしが21」3階会議室で研究部会を行っています。新進気鋭の若手会員からベテラン会員まで毎回20名余の研究部会メンバーが、各自の診断手法を披露し、活発な議論を行っています。

令和6年前半期の経営診断/経営改善計画策定発表者と発表事例	
1月	川副郷一郎「総合警備業」、山元岳司「建設業」、佐々木武「卸売業」
2月	窪津正充「理容・美容室」、栗田一人「建設業」、加瀬秀樹「飲食業」
3月	森部修「飲食業」、堀江明「学習塾」、田畑一佳・伊東豊二「製造業」
4月	岡村善裕「飲食業」、若岡聡子「仏壇店」、井上稔「酒造業」
5月	栗田一人「飲食業」、山元岳司「建設業」、望月啓司「飲食業」
6月	川島康史「金属加工業」、佐々木武「建築設計事務所」、栗田一人「リフォーム業・製造業」

飲食・観光研究部会

活動目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 本研究会は、飲食業をはじめ、小売業やサービス業など、繁盛している店舗運営を研究し、再現性のある店舗支援のあり方を探求する。 ● SNSを活用した前方支援(販売促進)やITを活用した後方支援(バックヤードの改善)を探求する。 ● 実践を通じて専門性を高めつつ、追体験を通じて支援できる幅を広げ、再現性を高める。 		
開催日	原則 第4木曜日 18時30分～20時	開催場所	コラボしが会議室でのリアル開催 または、Zoomによるオンライン開催
部会事務局	代表：望月 啓司 幹事長：加瀬 秀樹 幹事：岡本 香		

1. ご挨拶

「飲食・観光研究部会」は、2024年4月に『飲食業口福繁盛研究部会』と『しが観光経営研究部会』を統合し、新たに発足した研究部会となります。従来の各研究部会の活動を尊重しつつ、アフターコロナを勝ち抜くために『実践スキル(伴奏支援)の向上』にこだわり、助言したことは責任をもって実行することを通じて研究部員のスキルアップを図ります。

会員の皆さまのお役に立てるよう活動してまいります。今後ともよろしくご協力をお願いします。

2. 主な研究テーマなど

<研究テーマ>

- (1) 集客するための販売促進
 - ✓ フロー型 (Instagram・X・TikTok etc) 情報発信ツールの利用方法や活用方法の研究
 - ✓ ストック型 (LINE・YouTube etc) 情報発信ツールの利用方法や活用方法の研究
- (2) ITを活用した店舗運営管理や業務効率化(省人化・省力化ツール)
 - ✓ フロント業務の効率化の研究
 - ✓ バックヤードの効率化の研究
- (3) 補助金・助成金の調査研究

<外部講師による幅広い知識の習得>

SNSマーケティングをはじめ、現場で即使える必要不可欠な知識や技術を学びます。

3. 活動実績と今後の活動予定について

活動計画	
7月	キックオフミーティング開催
8月	【受託事業】 ChatGPT活用セミナー資料ブラッシュアップ
9月	海外の驚き飲食体験びっくり7選 (仮称)
10月	【外部講師】 飲食店向け最新モバイルオーダーシステム活用事例

BCP研究部会

活動概要	～災害等発生時でも、事業や社会活動を継続するために～ 事業継続計画の研究、策定支援		
開催日	年4回(5、8、11、3月) 分科会は不定期	開催場所	Zoom(オンライン会議) またはコラボ21しが
代表者	北村 信之		

1. 活動趣旨

近年、事業の継続を脅かすような自然災害が毎年のように発生し、感染症やサイバー攻撃などのリスクに備える必要性も増えています。しかし、BCPの策定率は年々緩やかに上昇しているものの、大企業に比べて中小企業の策定率は低水準にとどまっています。研究会では、専門家としての知識を習得し、BCP策定支援の実践を通してスキルアップを図り、中小企業の事業継続力の強化とともに地域経済の発展に貢献したいと考えています。

2. 令和5年度の活動状況

令和4年度から開始した介護BCPの支援においては、分科会を設けて研修を行い、支援方法や策定の進捗状況を共有しながら進めてきました。また、この間には能登半島地震が発生し、支援先の事業者とともにあらためてBCPの重要性を認識するところとなりました。

○研究部会

研究部会		分科会(介護BCP)	
5月	事例紹介、支援状況、ICTのBCP	4月	介護BCP専門家業務の研修
8月	事例紹介、支援状況、セミナー報告	4月	介護BCP策定支援の研修
11月	事例紹介、支援状況、事例集作成方針	6月	感染症BCPの支援方法
3月	介護BCP策定支援のふりかえり	12月	事例集原稿内容確認

○支援事業

(1) 介護BCPの策定支援

厚労省から令和5年度末までに介護福祉施設にBCPの策定が義務化されたため、支援機関にも多くの相談が寄せられました。研究会では支援機関とともに、県内の事業所にBCP策定支援を行い、事例集の作成にも協力しました。



(2) BCPのフォローアップ

これまでに県内の支援機関とともに支援した組合のBCPについて、平常時の取組状況のフォローアップを実施しました。この中のライフライン事業の組合からは、県とともに能登半島地震の復旧支援に参加され、BCPで策定した復旧支援体制などが活かされています。

DX研究部会

活動目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 本研究会は、中小企業診断士のDX支援スキルを向上することで支援先企業の利益向上に貢献することを目的に活動しています。 ● DX支援に役立つスキル・ノウハウを会員同士で惜しみなく共有することで、全体のスキルの底上げを図ります。 ● 研究部会を通じて知識の共有し協業体制を構築することで、研究部会として事業者のDX支援を受託できる体制を作り上げ、実際に事業者様のDX化に貢献する活動も行っています。 ● 事業者様のDX支援により得られた成果は、再度研究部会内で展開することで、中小企業診断士の一段のスキル向上を図るという好循環を生み出すべく、精力的に活動しております。 		
開催日	原則 第2金曜日 18時半～20時	開催場所	原則 コラボしが会議室と Zoomによるオンラインとのハイブリッド開催
部会事務局	代表:望月啓司 会計:岡本香 渉外:生田光輝 事務局:浅井志郎		

1. ご挨拶

「DX研究部会」は2023年度1月に、事業者様目線の話題や、DXに知見のある講師をお迎えして講演頂く場を設ける等、日頃の支援に役立つ知識を得る機会を作ることを目的として、2022年度入会の有志にて立ち上げた新しい研究部会です。

2年目を迎えた本年は更に活動範囲を広げ、実際に事業者様のDX化に貢献する活動にも力を入れて参ります。事業者様のDX支援により得られた成果は、再度研究部会内で展開することで、中小企業診断士の一段のスキル向上を図るという好循環を生み出すべく、精力的に活動しております。引き続き会員の皆さまのお役に立てるよう活動してまいりますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

2. 主な活動内容

<会員によるITツールの紹介>

会員が得意としているITツールを紹介頂いております。より身近にITツールを学べるだけでなく、講演を行う会員にとっては得意なスキルをアピールする場にもなっております。

<DX支援成果の展開>

DX支援の受託による成果を報告頂く場としても研究部会を活用しております。成果報告によりDXに関する一段のスキル向上を図ることに加え、実際の現場におけるDX化を追体験頂くことで、現場で通用するスキルの向上を図ります。

3. 活動実績と今後の活動予定について

昨年度から「LINE」「Googleカレンダー」「Notion(プロジェクトと管理ツール)」「KH coder(テキストマイニングツール)」「j PlatPat(特許調査ツール)」など、各会員の知識と経験を共有いただいております。各会員が得た知識を事業者様に共有し、生産

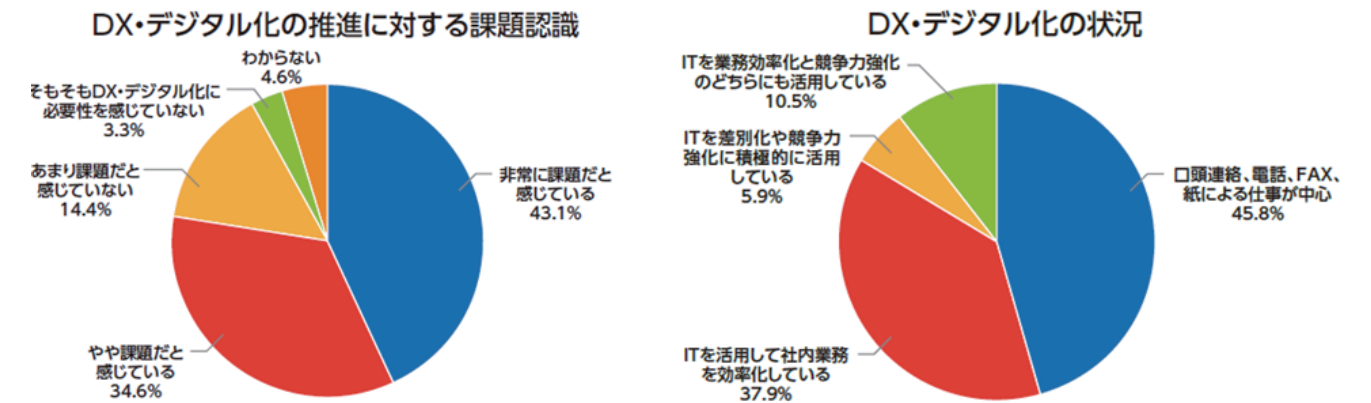
性の改善や信頼を得るきっかけ作りに役立て頂いているものと思っております。また、公的機関よりDX受託事業が正式に6月末に決定しました。本件内で5事案を推進し、現場で抱えているリアルな課題を業務プロセスの改善を行いつつ、ITを活用してDX化を推進して参ります。

これらの活動を通じて、DX化を進めるためのプロセスを研究していきます。課題解決策は1つではなく、事業規模や社内風土や経営者の関わり方によって異なります。サービスメニューの研究開発を進めつつ、実践を積み重ねながら適切なアプローチ方法を検討します。

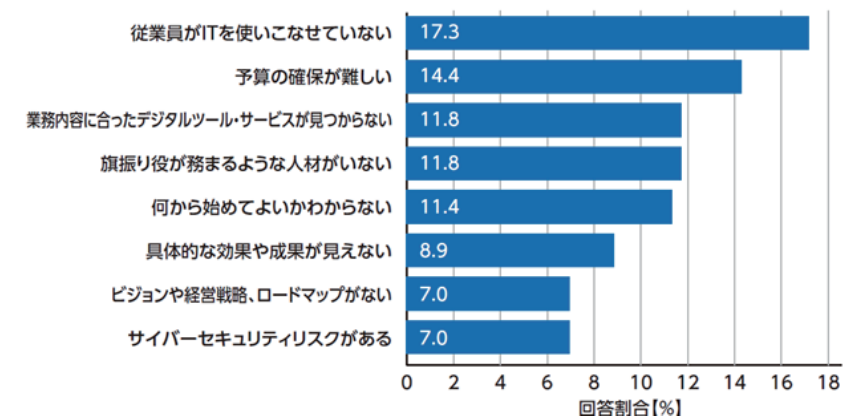
さらに、受託事業の実践で得た経験とノウハウを研究会で追体験いただきたいと思ひます。各会員がITを身近に感じていただくことが出発点です。受託事業に取り組んだ結果、一人でも多くの社長様の笑顔を見ることができるよう取り組んで参ります。

4. DX・デジタル化の実態(参考情報)

2024年1月に実施された大津商工会議所様のDX・デジタル化の実態に関するアンケート調査結果の抜粋を掲載いたします。DXの重要性は数年前から叫ばれており、事業者様としても課題認識頂いておりますが、現在でも多くの事業者様はアナログ的な体質から抜け出せずにおります。そのため、当研究部会の活動は多くの事業者様に貢献できるものと考えており、会員の皆様のITやDXに関するスキルを多くの事業者様にお届けするべく精力的に活動して参ります。



DX・デジタル化の課題(複数選択可)



企業組織活性化研究部会

リーダー：西村 剛史

1. 令和6年活動内容

令和6年1月27日(火)

テーマ：職員研修提案書に基づく具体的な研修内容の検討

令和6年2月27日(火)

テーマ：ローカルベンチマークを活用した伴走支援事例に基づく具体的な研修内容の検討

令和6年3月27日(水)

テーマ：ローカルベンチマークの報告および今後の伴走支援に関して、支援先企業との打ち合わせ

令和6年4月30日(火)

テーマ：理論研修のコンテンツの検討およびローカルベンチマークを活用した伴走支援

令和6年5月28日(火)

テーマ：理論研修のコンテンツの検討およびローカルベンチマークを活用した伴走支援

令和6年6月26日(水)

テーマ：理論研修のコンテンツの検討およびローカルベンチマークを活用した伴走支援

令和6年7月18日(木)

テーマ：理論研修のコンテンツの検討

2. 今後の活動計画

新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着いた昨年度から活動を3年ぶりに再開し、主に金融機関の職員さま向けコンサルティングスキル向上のための研修コンテンツを検討していました。まずは、その取り組みを今年度の滋賀県協会主催の理論研修で発表します。

今後は以下のような取り組みを考えています。

- ・参加者の興味のある人事労務に関わるテーマを取り上げていく。
- ・ローカルベンチマークを活用した伴走型支援の継続実施。
- ・上記を今後も月1度のペースで研究会を実施・継続していく。

よいくにを中小企業から創造する

よいくに中小企業診断士事務所 上杉 嘉邦



【プロフィール】

京都府長岡京市在住。鳥取大学工学部物質工学科を卒業後、外資系大手製薬メーカーにて医薬情報担当者として約7年間、医薬品開発業務受託機関で臨床開発モニターとして、約15年間勤務していました。2023年1月によいくに中小企業診断士事務所を開業し、中小企業の経営相談、補助金申請支援、BCP策定、人事評価制度構築等、業種業態問わず幅広い分野で活躍しております。

【滋賀県中小企業診断士協会に入会して】

2022年12月に診断士登録後、翌2023年に①勉強熱心で活動的な診断士が多数在籍していること、②経験の浅い診断士でも、さまざまな機会を与えていただけること、③与えられた機会に対し、熟練診断士からのサポートが受けられるという理由から入会しました。私は事業再生研究部会をはじめ多くの研究部会に参加させていただき、診断士として必要な知識やスキルを得ることができました。先輩診断士から手厚くご指導いただけたことは、私の財産になっております。これからも学んだことを生かし、協会のお役に立てるように精進します。

【滋賀県中小企業診断士協会での活動】

BCP研究部会での介護事業者のBCP策定支援業務、事業再生研究部会での経営安定化支援事業の副担当業務(3件)、地域経営研究会での商店街支援や公的機関経営診断、他には事業再構築補助金申請支援業務、セミナー講師や執筆業務にも携わらせていただきました。業務以外では、研究部会内での発表、懇親会やリクレーションにも参加させていただきました。プロコン塾は田畑塾長をはじめとした講師陣や、共に学んだ診断士の皆さまとの深い絆を得ることができました。

【今後の展開について】

私は医療系の仕事を行ってきたので、クリニック、調剤薬局や介護事業者の経営改善に挑戦していきたいです。介護事業者に対してBCP策定業務をしましたが、それ以外にも収益改善や人材確保等、経営に関する問題もありました。医療系の経営改善は今後需要が見込まれるので、知識を深めつつ取組んでいきたいです。

2024年7月に長岡京市の商工会で、セミナーを行うことになりました。私が診断士を目指した理由は地域活性化であるので、長岡京市に根付いた活動を行い、地域に必要な人物となるように心がけております。また事業再生や事業承継等、経験がない業務への挑戦や、IT、省力化、脱炭素、SDGs等今後中小企業のニーズが見込めそうな領域への知識向上に努めたく思います。

活躍する診断士の横顔

一翼を担う

【プロフィール】

滋賀県大津市在住。

大津市のデザイン会社に勤務、販売促進、新商品開発に携わる。

- ・ISO14001環境マネジメントシステム構築
- ・ISO14064GHG温室効果ガス算定者／検証人
- ・滋賀県地球温暖化防止活動推進員

中澤 太朗



【中小企業診断士を目指すきっかけ】

私は大津市のデザイン会社に勤務し、営業職として20年間、販売促進、新商品開発、EC構築、CRMなど、あらゆる販促サービスを提供してきました。しかし、お客様に広告宣伝費をかけてもらう仕事をする中で、商品やサービス、そしてそれを生み出す組織や人材の本質的な改善がなされない限り、一過性の販売促進にしかならず、持続可能な経営は難しいと感じるようになりました。そんな折、中小企業診断士という資格の存在を知り、2022年度に中小企業診断士に合格しました。

【滋賀県診断士協会で気づいた進むべき道】

滋賀県診断士協会に入会した理由は2つありました。1つは、プロコン・ステージアップ塾に入塾するためです。50歳までに自分の得意分野を見極め、特化したスキルを身に付けたいと思い、入塾を決意しました。プロコン塾では、面談や演習を通じて、自分の強みと弱みを納得感を持って知ることができました。先生方からは座学だけでなく、将来設計に関する親身なアドバイスもいただき、それは非常に貴重な経験となりました。

もう1つは、研究部会への参加です。研究部会の先生方はその分野の最前線で活躍しており、最新の手法やトレンドに精通されています。また、実践的な経験も豊富で、具体的な事例や成功・失敗の経験を交えたお話は毎回新しい発見があります。協会に入会したことで得られるメリットはスキルアップだけでなく、日々の問題解決のヒント、人脈の構築、モチベーションの維持向上にも役立っています。プロコン塾や研究部会を通じた交流により、自然とポジショニングマップが構築され、自分の進むべき方向が見えてきました。これにより、中小企業の環境対策に重点を置いて取り組むことを決めました。

【今後の展開について】

滋賀県は、2030年までにCO2排出を50%削減し、2050年に100%削減する目標を掲げています。その一翼を担うため、中小企業の環境対策や持続可能な経営を支援し、地域の脱炭素化に貢献したいと考えています。具体的には、企業のCO2排出の見える化、削減、削減したCO2の算定、排出権取引の実施を目標に研鑽を積んでいます。また、滋賀県地球温暖化防止活動推進員の活動を通して、地域への啓発活動をし県民の理解と協力を促進します。産官民一体で持続可能な社会を実現するための取り組みを進めていきます。

【協会の一員として】

日々多くの中小企業が様々な困難に直面している現状を感じています。悩める経営者の身近な存在として、気軽に診断士に相談できる環境を整えたいと考えています。協会には優秀な先生方が数多くおられます、その魅力と実力を広く知っていただき、経営者の一助となれるような活動を推進したいと考えています。

新入会員紹介

松田 浩一(まつだ こういち)

住 所 京都府京都市上京区

連絡先 (TEL)080-6216-4122 (E-mail)coach.m@outlook.jp

事業内容 終活・事業承継支援、創業支援、補助金・融資支援

会社員を定年退職前に辞め、スモールM&Aに挑戦。引退希望の社長との間で話が進みましたが、先方事情から断念する結果となりました。この経験から、社長の幸福な引退には事前の入念な戦略や準備が重要と悟り、社長リタイアサポーター®として活動しています。これまで京都府の協会だけに在籍していましたが、滋賀県の皆さんの活発な活動を伺い、また占いの結果にも後押しされて入会しました。どうぞよろしくお願い致します。



西村 友宏(にしむら ともひろ)

住 所 大阪府大阪市

連絡先 t.nishimura-bridgecon@protonmail.com

得意分野 計数管理・改善、利益創出、業務プロセス改善等

大手工場企業勤務後、“理論と実践の融合でビジネスを構想し支援する”を体現すべく経営大学院へ進学。同時に東京へ居を移すも2023年春に家庭事情で関西へ戻りメーカーに勤務。

“数字を活きた活動と融合する”を軸に、関西経済に寄与したい想いで経営支援活動への専念を決意。社会活動としてプロボノ活動経験、自動車関連メーカー勤務にて滋賀在住の経験と、縁ある滋賀県企業に貢献したく考えています。宜しくお願い致します。



平古場 祥介(ひらこば よしゆき)

住 所 奈良県奈良市在住

連絡先 090-8160-3014 Email koba_3_19@yahoo.co.jp

勤務先 株式会社ホロスホールディングス 京都市中京区

老舗オーディオメーカーの再建やIPO、外資系ブランドホテルの立上げなど特質の異なる複数企業での経験があります。中小企業診断士の知識をベースに、これまでに培ってきた人事の専門性を軸に法務、IPO、IR等、経営管理部門での経験を活かして顧客企業の成長に貢献し、伴走支援が出来る診断士を目指して取り組んでまいりたいと考えております。皆様、ご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



新入会員紹介

三村 健人(みむら けんと)

これまで9年間、食品メーカー、医療機関、自治体など様々な業界で財務・経理に携わってきました。現在は、どんぶり勘定での経営となっている事業者様に対してご支援させていただいております。

今までの経験を活かして、幅広い業種の企業に対して、商品ごと、取引先ごとの採算状況や資金繰り状況など、「経営状況の見える化」を行い、「どの商品をどれだけ売ると会社の利益がどうなるか」を明確にすることで、安定した経営基盤の実現に向けてご支援させていただきます。



岡 実(おか みのる)

住 所 滋賀県守山市
連絡先 Email: minoru.oka@gmail.com
SNS:LinkedIn:https://www.linkedin.com/in/minoruoka/
X: https://x.com/okappiki3

皆さま、はじめまして。2024年11月に登録予定の新人です。制御機器メーカーでプロジェクトマネージャーとして、新商品企画やグローバルのマーケティング、アライアンスを担ってきました。特に、製造現場のIoTやデジタル化を中心に取り組んできました。そして9月から再就職先で、工場や設備のセキュリティやDXのコンサルティングを行います。併せて、国家資格キャリアコンサルタントも取得予定です。これらの経験を活かしながら、診断士として中小企業の皆さんに役立てるよう頑張っていきます。よろしくお願いいたします。



京 里美(きょう さとみ)

住 所 大阪府箕面市
連絡先 kouteinoinaihachigatsu@gmail.com
事業内容 中小企業診断士 中小企業の経営支援全般
私立大学の非常勤講師 簿記
大阪市公共人材として、各種団体の運営支援
専門分野 業務改善、省力化、マーケティング

2008年に資格取得 大阪府中小企業診断協会、大阪中小企業診断士会入会。大学が滋賀だったことから、近年大学時代の先輩・同期との会合が増え、この年になり、滋賀県に何か貢献できればと思い、今年入会させていただきました。新参者ですので、何卒、皆様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

高山 優佑(たかやま ゆうすけ)

住 所 滋賀県守山市

2024年4月診断士登録と同時に入会しました。

現在は物流企業に勤務しており、総務や経理業務を担当しています。

管理会計の導入や業務効率化のためのDX推進(基幹システム導入等)、IoT導入推進(車両の状態のリアルタイム見える化実現)、M&Aの収益性の分析や買収監査など、幅広い業務に携わっています。

常に向上心を持ち、実践的な知識やスキルを身につけていきたいと思っておりますので、何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

会員の皆様へ

当協会のホームページでは、皆さまの専門領域や経歴等のプロフィールを「会員情報」として発信しております。内容をご確認いただき、最新情報の掲載にご協力をお願いいたします。原稿をお送りいただければ、ホームページ掲載の情報を更新いたします。受託事業をご担当されている方は、必ずご掲載いただきますようお願いいたします。

また、今年度に更新登録申請時期を迎える正会員の方は、要件充足の見込み等について、事前にご確認ください。ご不明な点等ございましたら、お早目にお問い合わせください。

事務局 小山 敦美

